

実現した政策

臨時国会における国民民主党の主な成果

- 「年収の壁」178万円の引き上げ
- ガソリン暫定税率の2025年内の廃止
- 高校生の扶養控除の維持
- 自動車税の環境性能割の廃止
- 大胆な設備投資減税の導入
- 自賠責保険料約6,000億円の一般会計からの繰戻し

プロフィール

- 横浜出身、横浜育ち。
- 2000年慶應義塾大学医学部卒業。学生時代はアイスホッケー部に所属。整形外科医・脊椎外科医として、慶應義塾大学病院、川崎市立川崎病院などで勤務。
- 2008年慶應義塾大学大学院医学研究科修了、学位（医学博士）取得。骨に関する研究を行う。
- 2022年横浜市緑区で二宮整形外科皮フ科院長として、地域医療に尽力。
- 趣味はジム、マラソン（2025年横浜マラソンをドクターランナーとして完走）、映画鑑賞

「もっと」社会保険料を軽減

- ・ 還付制度の創設で現役世代の社会保険料負担を軽減
- ・ 「130万円の壁突破助成金」を創設し、働き控えを解消
- ・ 賃上げを行う中小、零細企業の事業主の社会保険料半減
- ・ 後期高齢者医療の原則2割負担、医療給付を適正化
- ・ 公的保険の給付範囲見直しと後期高齢者医療制度への公費投入増
- ・ 「教育国債」発行で、いわゆる「独身税」廃止

「もっと」減税（残された「壁」を乗り越える）

- ・ 住民税の控除額「110万円の壁」を178万円まで引き上げ
- ・ 所得税の基礎控除の所得制限撤廃（665万円、850万円の壁）
- ・ 障がい福祉の所得制限撤廃
- ・ 年少扶養控除の復活、高校生の扶養控除維持
- ・ 消費税を一律5%に減税、インボイスは廃止
- ・ 自動車の電動化を踏まえた「自動車税、自動車重量税」軽減

「もっと」生活コストを安く

- ・ ガス、水道、灯油、重油、航空機燃料等の通年値下げ
- ・ 電気代値下げ（再エネ賦課金（2万円程度／年）を廃止）

投票用紙の

一枚目には
二枚目には

二宮 研
国民民主党

とお書きください。

「もっと」住宅を安く手頃に

- ・ 中低所得者向けの家賃控除制度を創設
- ・ 空き家、公営住宅等を活用して、低家賃、低価格住宅を子育て世帯や若者、単身高齢者に供給
- ・ 空室税や短期売買規制強化で投資目的の値上がりを抑制し、現役世代が手頃な価格で購入、賃貸できるように

成長戦略「新・三本の矢」GDP1000兆円

- ・ 減税、社会保険料負担軽減し、人手不足解消
- ・ 戦略、成長分野等への「ハイパー償却税制」導入、適正取引の拡大等で中小企業の黒字転換を後押し
- ・ 「教育国債（5兆円／年）」で、教育・科学技術予算倍増

人づくりこそ、国づくり

- ・ 年5兆円の「教育国債」発行で子育て・教育・科学技術予算を倍増
- ・ 3歳から義務教育化で待機児童ゼロ
- ・ 給食代、教材費、修学旅行費等を含む高校までの教育費完全無償化
- ・ 子育て、教育、障がい福祉、奨学金の所得制限撤廃、年少扶養控除復活

国民民主党の政策を
さらに詳しく！

